

団体名	原子力規制を監視する市民の会
助成額	440,000 円
申請事業名	原子力行政の市民による監視活動
HP	http://kiseikanshi.main.jp/kanshi/

活動・事業報告

原子力規制委員会の傍聴と毎週金曜日に報告を兼ね、イラストラシ配布とアピール行動を行ってきました。5 月には九州・関西の団体と共に原発の避難問題をテーマとした院内集会と交渉、6 月には青森・関西の団体と共に核のごみ問題をテーマとした院内集会と交渉、10 月には関西の団体と共に原発の避難問題をテーマとした院内集会と交渉を行いました。20 年 3 月には原発の火山影響評価について、意見聴取会へ参加しました。

19 年夏以降は台風による風水害と原子力防災が大きなテーマとなり 11 月にはこの件で茨城の団体と共に茨城県への要請行動を行いました。20 年 3 月には水戸で集会を準備していましたが、新型コロナ問題で延期としました。金曜日の行動も当面中止となりましたが、ネット配信 FFTV などを使いオンライン上での情報発信に力を入れています。4 月には、東海第二原発の工事の中止を求める共同声明について、オンライン上で賛同を募り提出する行動を行いました。

助成金を受けての成果とその自己評価

核のごみ問題、原子力防災と避難問題、原発の火山影響評価など、原子力をめぐるその時々々の焦点について、立地地域や周辺地域で活動する市民団体とも連携しながら、行政当局に対し、的確に問題提起し、広く一般市民に知らせる活動ができ

たとえます。特に 19 年夏以降は、台風などの風水害と原子力防災、そして 20 年春以降は、新型コロナと原子力防災についてタイムリーな問題提起ができたと考えます。

今後の活動の展望

新型コロナの影響により原子力規制委員会も会合を減らしており、また、原発の安全対策工事の現場で感染者が発生するなどしています。その一方で、稼働中の原発を止める動きはなく、東海第

二原発などでは再稼働のための工事が継続しています。市民活動も大きく制約を受けていますが、創意工夫しながら、コロナ問題の陰で、災害に弱い原発を推進することをしっかりと批判していきたいと思います。



ビデオメッセージはこちらから
<https://youtu.be/Fq9N7-tUgJI>

